

キャラクター名
氷上ひかり

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェント
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	20	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪		初期侵食率	31 %
出自	資産家	経験	トラウマ		邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	16
感覚	3	1	3			7	(非装備時)	16
精神	2	0	0			2	戦闘移動	21
社会	1	0	0			1	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術: 料理	1		知識:			情報: UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヘルスナイパー	射撃	7r+1		14		マイナー使用で命中+2可。他武器装備不可。同エンジン攻撃不可。
コンボ [バーストバレット]	射撃	7r+1		24		3+4、侵蝕4
コンボ [バーストフレア]	射撃	8r+1		24		3+4+5、装甲無視、侵蝕8
コンボ [シャインバレット]	射撃	7r+1		36		7後、3+4、侵蝕4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル	
アクセサリ	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
亜純血: サラマンダー	P	N		
火村勇護[タイタス/残留はこれのみ]	P	憧憬	N	不安
氷上純一郎	P	執着	N	恐怖
春日恭二	P	好意	N	憎悪
土瀬戸士狼	P	感服	N	食傷
倉持竜吾	P	慈愛	N	憤懣
人間使い	P	執着	N	憤懣

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ: サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv/最低7								
炎の刃	5	2	メジャー	武器	単体	白/射	-	
効果: ダメージ+[Lv*2]で攻撃								
結合粉砕	1	4	メジャー	-	自身	シンドローム	ピュア	
効果: ダイス+1、装甲無視								
ミスディレクション	1	5	オート	視界	単体	自動	Lv/シナリオ	
効果: 指定した範囲攻撃を単体化								
シャインブレード	10	2	マイナー	-	自身	自動	-	
効果: シーン中、武器攻撃力+[Lv+2]								
ヘルスナイパー	2							
効果: 経験値計算用20=(ヘルスナイパー取得値35-上記結合粉砕分15をマイナスした値)								
温度調節	1	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果: 料理や陶芸、鍛冶など、温度調節可能。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

・サラマンダーの父と、エンジェルハイロウ(潜伏)の母の間に生まれた娘。
 ・父は神代グループ参加の化学工業を扱う会社の取締役。銀髪は父から受け継いだもの。
 ・母はその企業の研究者の一人だったが、すでにこの世にはいない。琥珀色の瞳は母から受け継いだもの。
 ・高校までは、大企業の重役の娘とは思えないほど愛情を注がれ普通の女の子として育った。
 ・大学入学の日、入学式が終わった後、記念に家族でディナーに行っている所を殺される。
 ・犯人は、父の紹介で、小さい頃から時折面倒を見てくれていたお兄さん、春日恭司。
 ・この時、能力に目覚めた自分は、二度目の春日の攻撃を光の屈折で逸らす。
 ・結果それは母へと向かい、母の身体は真っ二つに引き裂かれた。
 ・頼るべき父を見上げたものの、そこには自分の姿を見て唾う父がいた。
 ・気づけば周囲は火の海で(推定これも本人の能力)ただ泣きながら、嘔吐を繰り返す。
 ・そんなところを火村勇護に拐われるように助け出される。
 ・UGNに保護され、レネゲイドウイルスの存在、オーヴァードの存在、自分と父もそのオーヴァードであることを知る。
 ・後から聞いた所によると、父は無事会社に復帰、母の訃報を出しつつも、何事もなかったかのように仕事をしているとのこと。
 ・自分は、母を殺し、父に捨てられた、という認識が残る。
 ・父に会って話してみたい、と思うが、この気持ちから未だ話に行くことはできていない。
 ・春日についても、何故あのような行動に出たのか聞きたいが、連絡手段がなく、話ができていない。
 ・その後、そんな状態では元の生活に戻ることもできずUGNで過ごす事1年。
 ・UGNエージェントとして如何なる困難にも打ち勝ち、どれほど高難度の任務からも帰還し、人を助けて回る火村を見るうち、自分も人の役に立ちたい。
 ・否、そんなに高尚なものではない、せめて贖いをしなければならぬ。
 ・父母への慚愧、春日への疑問、そして火村への憧憬を胸に、エージェントになる事を申し出た。
 ・シェキナーっていうコードネームは恥ずかしいので、本名をもじったピカピカでいいと主張している。